

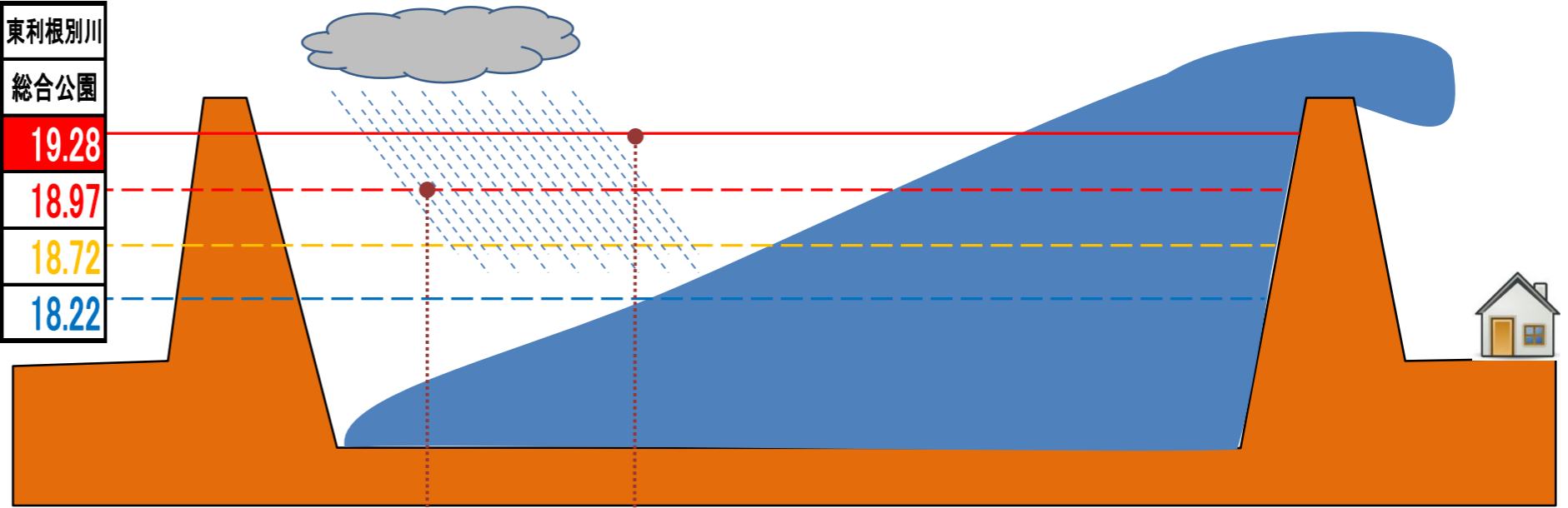
岩見沢市版災害時タイムライン

河川名	利根別川	幌向川	幾春別川	旧美唄川	石狩川	石狩川	夕張川	東利根別川
観測所	大和橋	岩栗橋	西川向	大豊橋	岩見沢大橋	月形	清幌橋	総合公園
はん濫危険水位	12.07	12.99	14.20	12.00		15.60	13.10	19.28
避難判断水位	11.59	12.75	13.30	11.40		15.30	12.70	18.97
はん濫注意水位	10.53	11.97	10.60	10.40	9.40	12.30	12.60	18.72
水防団待機水位	9.16	9.67	10.00	9.30	7.80	10.40	11.60	18.22

(注: 水防団の任務については消防団が行っています)

単位:m (海拔)

大雨の時、河川の増水を想定したタイムラインです。
降雨の状況により、経過時間が異なりますので、気象警報や河川の水位によって、市役所・地域(町会・自治会等)・個人が行うことを示しています。



事態の状況	平常時	大雨の予報	大雨注意報発表	大雨警報発表	河川水位上昇	避難判断水位	はん濫危険水位 土砂災害警戒情報発表	降雨の継続 河川水位上昇 川のはん濫	●事態の継続 (降雨、河川増水)	○事態の鎮静化 (避難情報解除)	事態の終息	
						緊急地震速報	地震発生	余震の発生				
						レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	レベル 5		
公助(市役所・行政)	災害対策の周知(ハザードマップ、災害時の心得) 防災対策施策の実施 備蓄品等の購入・配置 情報伝達方法の充実 防災訓練の実施	天候の変化注意	気象情報の確認、予測 (初動対応職員の出動)	第1非常配備職員参集 気象情報収集・分析(以降 随時) パトロール体制の準備・出動	関係機関との情報交換 情報の取りまとめ 今後の対応検討	災害対策本部設置 避難所開設準備 → 開設 避難者受入 市民・関係機関へ情報伝達 (対象町会長への連絡)	市民・関係機関へ情報伝達 被害状況の把握	ケガ人・不明者の集約 避難状況の把握 (自衛隊応援要請の検討 → 要請)	支援物資の調達・搬送 不明者の捜索、確認 (ボランティアセンターの立上げ)	被害状況の調査 不明者の捜索、確認 避難所閉鎖	災害状況のまとめ・報告 被害箇所の復旧 復旧作業への支援	
							避難準備・高齢者等避難開始発令					避難勧告発令
共助(町会・自治会)	連絡網の整備(コミュニケーション) 地域内の役割担当者の決定 備蓄品、資機材の備え 情報入手方法の準備 防災訓練の実施	悪天候の認知 テレビ・ラジオ・インターネット等により入手	連絡方法の確認 連絡網の準備	連絡体制の準備 町会役員・班長等との今後の対応連絡	地区の状況確認、情報共有 (状況により行政への通報)	地区内の情報伝達(連絡網) 担当役員の集合 避難所の開設状況確認(要支援者への連絡、行動支援) 避難勧告・災害発生に備えた準備	地区内での情報伝達 担当役員の行動開始 逃げ遅れや安全確保が不十分な人がいないか確認や支援 要支援者への支援 危険箇所や救助要請の通報	自らの安全確保 近隣の被害を確認 避難状況の確認	地区内の安否確認(要支援者) 避難所生活の準備・役割分担 支援物資の要請・受入 (人命救助)	被害状況の確認 地域内の情報伝達 避難所からの帰宅(避難所閉鎖) (ボランティアの受入れ)	地域内の復旧作業	
							避難の開始(安全確保) 要支援者の安全確認					避難完了 自らの安全確保 家族の安否確認
自助(市民・家庭)	ハザードマップの確認 避難所及び避難経路の確認 非常持出品・備蓄品の備え 情報入手方法の準備 防災訓練への参加	悪天候の認知 テレビ・ラジオ・インターネット等により入手	天気予報の確認 (外出予定の検討・中止)	家屋の確認、危険箇所の点検 非常持出品・備蓄品の確認 (帰宅又は滞在地に留まることの判断)	家族の動向確認、情報共有 (土のう等による防水準備、対策)	非常持出品の準備 避難所の位置確認 隣近所との情報共有(支援:要支援者含む) 要支援者は早めに避難開始	避難の開始(安全確保) 要支援者の安全確認	避難完了 自らの安全確保 家族の安否確認	避難生活のルール確認 家屋等の状況確認 帰宅(準備を含む)	家屋等の状況確認 帰宅(準備を含む)	家屋等の清掃・修繕	
												居住場所の安全確認 (必要に応じ避難所へ移動)